

	市町村	氏名	主要経歴 (下線部が表彰事由となる職)	活動概要
1	米子市	あししば みちあき 足芝 通秋	現 <u>かわさき</u> 河崎地区自治連合会会長	地域の3大行事を継続して盛大に開催できるよう地域で安心・安全に暮らせるよう住み良い地域づくりを進め、幅広い住民に活動に関心を持ってもらい、参加してもらえるよう取り組みを進めている。さらに戦前から河崎地区に伝わる地区の宝である伝承芸能を未来の子ども達に継承するよう保存会を復活させ運営に尽力した氏の功績は大である。
2	米子市	はなした よしのり 端下 良則	現 <u>ふくよねにし</u> <u>しもたに</u> 福米西地区下谷4区自治会会長	地域の行事・環境整備の取り組みに力を入れ取組み、「楽しく地域活動ができるように」をモットーに地道に少しづつ、役員の負担も軽減して取組むことを考え改善を進めている。地域の活性化のため多くの人に参加してもらえる活動を工夫を進めることで各自治会の機運も高まり、ひいては自治連合会の強化発展につながっている氏の功績は大である。
3	米子市	ながとう きよし 永東 清	現 <u>かも</u> <u>かも</u> 加茂地区加茂1自治会会長	安心・安全なまちをつくることを目標に環境整備等に力を入れて活動を行っている。また、加茂地区自治連合会会長としても、地域の行事・環境整備・見守り活動の取組みに力を入れ思いやりのある加茂地区となるよう活動をしている。活動の継続は、地域の活性化のため多くの人に参加してもらえるよう活動を工夫して行っていることで各自治会の機運も高まり、ひいては自治連合会の強化発展につながっている氏の功績は大である。
4	倉吉市	さいき ひでひろ 齋木 英宏	元 <u>みやがわちよう</u> 宮川町2丁目自治公民館館長	平成28年10月には、鳥取県中部地震が起きた際、避難所として自治公民館を1ヶ月程度開放し、住民が安心して生活出来る場所を確保した。また、このような活動について同年12月に鳥取看護大学で講演を行うなど安心安全な生活環境の向上に取り組んだ氏の功績は大である。
5	倉吉市	やまおか しげたか 山岡 重隆	元 <u>もくなみ</u> 椋波自治公民館館長	令和3年4月に、自主防災組織を設立したうえ、それまで土砂崩れが起きた際、避難所が地域外にあることから住民が孤立してしまっていたが、同年7月に地域内に避難所を開設し、住民が安心して避難できる環境を提供した。このように、地域に住むすべての人が安心して暮らすことのできるまちづくりに貢献してきた氏の功績は大である。
6	境港市	みよし しんさく 三好 伸作	元 <u>とのえ</u> 外江地区自治連合会会長	自治会を持続可能な組織とするために地区内の小規模自治会合併を進め、令和2年度に12自治会を9自治会に再編した。また、コロナ禍において、対面での会議が困難な中でも市長と各地区連合会会長による懇談会を開催し、市政に対する意見交換の機会を継続させるなど、環境意識の強化、住民の交流促進および高齢者福祉の充実などが進んだことから氏の功績は大である。
7	境港市	おおにし きいちろう 大西 毅一郎	元 <u>あがりみち</u> 上道地区自治連合会会長	境港市の原子力防災訓練に積極的に協力して、地区住民の防災意識の高揚に努めた。また、上道地区内で後鳥羽上皇が立ち寄ったとされる「皇の松伝承地」を後世に伝えるため、「皇の松まつり」の開催に携わるなど伝承文化の継承に努めるなど、環境意識の強化、地域の交流活動の推進および高齢者福祉の充実など進んだことから氏の功績は大である。